
またいつか一緒に【第21話】

創離

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

またいつか一緒に【第21話】

【Nコード】

N0460BA

【作者名】

創離

【あらすじ】

修学旅行の帰りに僕は列車事故に遭い。右腕と両足の自由を失った。そんな僕を遠ざけていく仲間達。僕は復讐代行業者を使い、仲間に復讐を開始する。しかし、その復讐を目撃していくうちに僕の中に迷いや恐怖が渦巻き始めた。そして、友達が刺され犯人が自殺した。と言う知らせが届く。そして更に恋人の遥まで誘拐された。一体僕はどうすればいいんだ

（前書き）

リレー小説（第二弾） 設定・注意事項

全 40話

一話2000文字以上

登場人物 数制限 なし

ファン タジー要素無し

S F要素 無し

地の文は 主人公 視点

重複執筆 可

ジャンルは その他

執筆予約 制廃止（予約を入れてくださる 著者様を拒み はしません が、ある程

度の執筆予約が入ってからの執筆開始は しません。
執筆予約 を入れられた 著者様

に関しては、活動報告に 掲示させていただきます（

執筆著者様は、執筆 前に聖魔光闇様にご連絡ください

執筆投稿 後、必ず御一報ください

あらすじ は、前話までの要約を明記

後書きに執筆著者様 募集広告を添付

1話：聖魔 光闇先生 <http://ncode.syosetu.com/n1590t/>

2話：日下 部良介先生 <http://ncode.syosetu.com/n2296t/>

3話：ふえに もーる先生 <http://ncode.syosetu.com/n3991t/>

4話：koyak先生 <http://ncode.syosetu.com/n4630t/>

5話 : 創離 http://ncode.syosetu.com/n8318t/
 6話 : 蟻塚 つかちゃん 先生 http://ncode.syosetu.com/n9612t/
 7話 : 聖魔 光闇先生 http://ncode.syosetu.com/n1100u/
 8話 : 伝次 郎先生 http://ncode.syosetu.com/n2759u/
 9話 : koyak先生 http://ncode.syosetu.com/n4425u/
 10話 : この はな さくら先生 http://ncode.syosetu.com/n4766u/
 11話 : 鳩麦 先生 http://ncode.syosetu.com/n8057u/
 12話 : ポテトバサー 先生 http://ncode.syosetu.com/n1332v/
 13話 : 聖魔 光闇先生 http://ncode.syosetu.com/n5466v/
 14話 : 真野 優先生 http://ncode.syosetu.com/n8285v/
 15話 : koyak先生 http://ncode.syosetu.com/n9776v/
 16話 : 伝次 郎先生 http://ncode.syosetu.com/n1985w/
 17話 : キッチンタイマー先生 http://ncode.syosetu.com/n5121w/
 18話 : もいもい先生 http://ncode.syosetu.com/n2386x/
 19話 : キッチンタイマー先生 http://ncode.syosetu.com/n0969z/

s y o s e t u . c o m / n 5 8 8 1 z /
2 0 話 : K 1 . M - W a k i 先生 h t t p : / / n c o d e .

俺は堕ちる思想の中、床の上に倒れ込んだ。

冷たい床は、俺の熱くなった頭を冷やしてくれる気がする。

すると、パソコンの裏から点滅する何かを発見した。

（そう言えば、最近部屋掃除してないな。パソコンの上にも埃が
ぶつてら）

この復讐をどうするべきか、それはすぐに出せる答えではない。

それは俺がよく知っていた。

複雑に絡み合った感情、事件、思想……何一つとして答えが見つ
かっていない。

そもそも、復讐をやめにして俺はどうしたい？ 何ができる？

警察すら欺くようなプロの業者を相手にして、体もまともに動か
ない素人に何ができる……。なにも分からないままじゃないか。

なら、考えることなんてやめて復讐を続けるのが賢い選択なんだ
ろう。

「……少し、片づけるか」

僕は冷静になった頭で、パソコン周りの掃除を始めた。

と言つても、ゴミをまとめて、周りの物を整理して、市販のほこ
り取りでほこりを取った程度だ。

「配線も整理しておくか」

僕はビニール製の紐を手にとり、パソコンの裏を覗き込んだ。

色々な配線や周辺機器が散乱していた。

「はは、これはいつ発火しても可笑しくないな」

僕は自嘲気味に笑いながら、コードをたくしよせる。すると、見
たことのない黒い箱を見つけた。

「？ こんな物買ったけな」

それはパソコンの電源を切った状態でも点滅を繰り返していた。
独自に電源からアダプターを通して作動しているようだった。た

だ、それよりも気になるのは

「LANケーブルと繋がっている？」

パソコンとモデムとの間にこの機器が挟まっていた。

当然僕はこんなもの繋いだ覚えがない……いや、インターネットだ！

「そうだ！ 何故こんな事に早く気付かなかった！」

そう考えればつじつまが合う気がした。

そもそも、あのプランを見た時に気付くべきだったんだ。或いは、勝俊が俺に対する復讐を依頼したと言う情報を知ったときでもいい。最低でもあそこで気付くべきだった！

この業者のやり方は明らかに破綻している事に！

俺ははやる気持ちでパソコンを立ち上げる。

「そもそも、何故あんなホームページの掲示板で宣伝をしたのか！ それからしてまずおかしかった」

俺は誰に喋りかけるでもなく、言葉を発する。

もっと複雑にこの情報は隠すべきだった。例えば、その掲示板に行くには特殊なページを開く順番を決めるであるとか。

でなければ、いたずらメールなんかも来て非効率きわまりない。

俺は急いでインターネットを立ち上げる。

「プランにしても破綻だらけのプランだ」

まず、復讐……ひいては犯罪行為まで犯すグループに出資する団体の問題だ。

一人二人の犯罪行為ならともかく、こんな浅い所で宣伝すれば本気で復讐したい奴だけでも莫大な数になる筈。それプラス、本気を装って殺してほしいと言う奴もいるだろう。

そんな予算を出そうと思ったら、国家予算規模の金が必要になる。まず現実的とは思えない。

更に、プラン自体の破綻だ。例えば、AとBが同時にCに復讐しようと思ったらどうする？ しかも、Aは『殺してほしい』、Bは『生き地獄に落としてほしい』……だったら？

俺はお気に入りから例のホームページを開いた。

……誰が良い？ 今一番信用できる人間は？

「……優か」

俺は一番信用できるであろう親友の優に電話をかける。

…一回目のコール

……二回目のコール

『ピッ——おう、どうした？ 智哉、バスケでもし』

「優！ 今どこだ？！」

俺は優の声を遮って喋り出す。

『え？ あ、ああ、今は家にいるが』

俺に声に緊急性を感じたのか、質問に答えてくれる。

「よし、ちょうどいい。インターネットは使えるだろう？ 今から言うURLのサイトを開いてくれ」

『え？ いや、ああ、ちよつと待て』

優は困惑しながらも使命感の様なものをたぎらせて返事をした。

パソコンの立ち上がる、独特の音が聞こえてきた。

「なんだ、パソコンの前にいたのかよ」

『はは、親がな、動かなくても暇しない様について俺に一台買ってくれたんだ』

もっぱら車イスバスケの動画見るばかりだけだな、と優は笑いながら付け加えた。

『インターネット開いたぜ』

「よし、それじゃあ」

俺はホームページのURLを優に伝える。

『えーと、次はR？』

「Rじゃなくてしだ。英単語のつづりくらい覚えとけよ」
『うるせえなあ、よつと』

エンターをはじく音が受話器に響く。

『？ なんだ、エラーが出たぞ。URL間違ったか？』

優はもう一度URLを復唱するが、どこにも間違いはなかった。

「はは、ははは、そうか、ありがとう……優……」
優が何か言っていたが、俺は電話を切った。

例えば、イントラネットと言う物がある。会社内などで使う小規模のインターネットと言ったところか……。

そこまではずした言い方ではない筈だ。

そして、LANケーブルにつながった謎の機器……。

他の回線からでは繋がらないホームページ……。

「なんだ、この復讐は」

パズルのピースが咬み合うように、一つの真実が姿を現す。
ようやく見つけたこの復讐劇の一片の真実。
しかし、その真実はあまりにも……

「最初から――」

↳ to be continued

（後書き）

21話と言うことで、全体の起点となればいいなあという気持ちで書きました。

まあ、感想をだらだら書いても仕方ないので注意事項を。

今回の話に出てきたイントラネットという言葉ですが、私は文中で出てきた程度の知識しか持っておらず、これ以上はどういう物かは分かっていません。なので色々書く上で都合のいいようにしましたので、過度の信用をなさらない様に。

これはリレー小説になります。この話から読んだ方は、聖魔光暗さんのお気に入り、もしくは「またいつか一緒に」で検索し一話から読むとよりお楽しみいただけます。

そして、この続きを書きたいと言う方がいらつしやいましたら聖魔光暗さんまでご一報を。どなたでも構いません。

上記の本編を読まれた方、この程度でも参加を許してもらえらるほど、聖魔光暗さん始めの参加者の方々は心が広いです。

是非ご参加頂けると、参加者を始め様々な方に喜んでいただけるかと思います。

長々とあとがき失礼しました。……あとがきなら参加者中最長だな、たぶん（ボソッ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0460ba/>

またいつか一緒に【第21話】

2011年12月31日23時50分発行